

事例紹介：倉庫内薬品ピッキング

参考動画は[こちら](#)

参考動画



導入前の課題

- 人が必要な薬品をピッキングしていたため、人手がかかっていた
- ピッキング頻度も多くさらに薬品の種類が多いため、人の身体的・精神的負担が大きかった
- 薬品のピッキングミスが発生していた
- 作業者により作業効率に個人差があった

ポイント

- 対象の薬品が入った箱をロボットが棚から取出し
- 3Dカメラを使って箱から薬品をピッキング



導入による効果

- 人の身体的・精神的負担が減った
- 省人化となり、作業者は接客等、他の仕事に集中できるようになった
- 薬品のピッキングミスがなくなり、クレームが減少した
- 作業者の育成コストが減った
- 作業効率の個人差が無くなり、患者の待ち時間の予測が正確になった

工場の部品配膳作業などにも応用できます！